

# 茶病虫害防除情報

【第 16 号】

令和 5 年 3 月 20 日

鹿児島県経済連肥料農薬課

## 一番茶萌芽期～生育初期の病虫害防除対策

鹿児島の今冬（12月～2月）は気象予報どおり度々の強い寒波襲来で12月下旬および1月中旬はかなり低い気温になり、降雪などもありました。3月に入り漸く温かい日が続くようになり、中旬になると急激に気温が高くなりました。南薩地域の茶園を巡回しましたら茶の芽の萌芽・生育も始まり、早場産地の早生品種では萌芽期を迎えていました。期待する一番茶芽の生育は昨年同様早いようで、平年より早い生育状態と思われます。

茶園の病虫害もカンザワハダニなど害虫の活動が始まる時期になりました。今回は一番茶萌芽前から生育初期の病虫害防除対策についてお知らせします。

### ☆ 一番茶前の防除の考え方

病虫害も活動し始めてきました。これから一番茶にかけては赤焼病、カンザワハダニ、サビダニ類、ツマグロアオカミ、マダラカサハラハシ、コムカアブラムシなどが発生します。

この時期に発生する病虫害被害は、一番茶の収量・品質に直接影響しますが、一番茶摘採を控えていますので消費者に与えるイメージや「クリーンなかごしま茶づくり」などを考慮し、できるだけ薬剤防除は避け、発生・被害のためやむをえず行う場合は薬剤の使用時期には十分な注意が必要です。特に茶園の見回りを入念に行って病虫害の発生を早めに予察し、防除の可否を適切に判断しましょう。防除しなければならぬ状態の場合は、萌芽期～1葉期頃までに行い、使用基準の期間を十分確保できる薬剤を選定します。

## 1 一番茶萌芽～生育初期の病虫害防除

### ○ 赤焼病

今年の発生も極めて少なく、南薩地域などの極一部園で、スポット的に発生が確認されている程度です。今後も発生拡大は少なく、防除の必要は少ないようです。

### ○ カンザワハダニ

一番茶期は最も発生しやすい時期で、今頃から発生が多くなります。気温が高くなり、乾燥した天気が続くと多くなります。これからの気温は平年並みかやや高い気象予報ですが、県病虫害防除所の3月の発生予察情報では「やや多」の予報となっております。また、3月上旬調査では例年に比較し、寄生葉率、越冬密度は平年並みの状況で、産卵・増殖はやや早い傾向でした。これから一番茶芽生育期に気温が高く、晴天が続く場合や、晩霜被害後などは発生が増加しますので、注意しましょう。

○ サビダニ類 (チャノカサビダニ チャノサビダニ)

最近発生が多くなってきており、今年も一部地域や茶園では越冬密度がやや高い状況でした。一般に一番茶摘採後頃をピークに増加し、葉の褐変・萎縮・落葉などの被害がありますので、例年発生する園などは一番茶生育初期にハダニと同時防除します。

○ ツマグロアオカスミカメ

本虫は、秋に雑草の花などに発生した成虫が飛来し、秋整枝後などの枝梢の切口に産卵し、越冬しています。このふ化幼虫・成虫が一・二番茶芽生育期に新芽を加害し、被害を生じます。このため周辺に雑草の多い園や例年発生する園などで局地的に発生する傾向があります。萌芽～1葉期頃に防除します。

○ マダラカサハラハムシ

主に秋芽生育期に発生しますが、稀に越冬した成虫により一番茶芽も加害され、被害を生じることがあります。秋に発生が多かった園では、発生に注意します。

○ コミカンアブラムシ チャノホソガ

被害は殆どないので、出品茶園などを除き特に防除の必要はないでしょう。

○ 輪紋葉枯病

降雨日が多い条件で、周辺にツバキ科植物がある園は発生に注意しましょう。

表 一番茶芽萌芽～生育初期に発生する病害虫の薬剤防除法

対象病害虫	薬 剤 名	希 釈 倍 数	使用時期	回数	備 考
赤 焼 病	クプロール <sup>®</sup>	1000倍	前日	—	銅剤は有機栽培園、米 国輸出茶栽培園に使用 可能である。
	コサイト 3000	1000倍	14日前	—	
	トイボルト <sup>®</sup> -A	500～1000倍	14日前	—	
	フジトールLフロアブル	500倍	14日前	—	
	Zボルト <sup>®</sup> -	500倍	7日前	—	
	ムッシュボルト <sup>®</sup> -DF	500～1000倍	7日前	—	
	カスミンボルト <sup>®</sup> -	500～1000倍	14日前	2回	初発時期に防除する
カンザワハダニ	ダニサラハフロアブル	1000～2000倍	7日前	2回	米国輸出茶栽培使用可
	ダニコンクフロアブル	2000～4000倍	7日前	1回	〃
	スターマイトフロアブル	2000倍	7日前	1回	〃
	サンクリスタル乳剤	300～600倍	摘採前日	—	有機栽培園使用可
	ミルベノック乳剤	1000倍	7日前	1回	〃
チャノカサビダニ (サビダニ類)	サンマイトフロアブル	1000～2000倍	14日前	2回	
	スターマイトプラスフロアブル	1000倍	14日前	1回	
ツマグロアオカスミカメ	アクトラ顆粒水溶剤	3000倍	7日前	1回	米国輸出茶栽培使用可
	コルト顆粒水和剤	2000倍	7日前	2回	〃
マダラカサハラハムシ	ダントツ水溶剤	2000～4000倍	7日前	1回	米国輸出茶栽培使用可
	アクトラ顆粒水溶剤	2000倍	7日前	1回	〃

カンザワハダニ寄生状況



赤焼病発生と一番茶芽生育被害



ツマグロアオカスミカメ 被害園



幼虫



輪紋葉枯病



コムカンアブラムシ

コムカンアブラムシ

寄生状況



成虫と幼虫 (上) 有翅雌成虫 (下)



今年の発生確認なし